

トップの「中国銀行」 シェア 45.58%

上位 20 位中、2 つの金融機関がシェア拡大

岡山県・「メインバンク」動向調査(2025 年)



本件照会先

越久田 智(支店長)
帝国データバンク
岡山支店
TEL:086-224-4681

発表日

2026/01/19

当レポートの著作権は株式会社帝国データバンクに帰属します。
当レポートはプレスリリース用資料として作成しております。著作権法の範囲内でご利用いただき、
私的利用を超えた複製および転載を固く禁じます。

SUMMARY

岡山県の企業がメインバンクとして認識している金融機関のシェアは、「中国銀行」がトップとなった。前年調査と比較すると、1 位～5 位に変動はなかった。業種別では、「中国銀行」が主要 7 業種でシェア 35% を超えた。取引先の売上規模別でみると、『10 億円未満』までは「中国銀行」「トマト銀行」「おかやま信用金庫」が 1 位～3 位を占めた。

※帝国データバンクでは、2025 年 10 月末時点の企業概要データベース「COSMOS2」(全国約 150 万社収録)をもとに、企業がメインバンクと認識している金融機関を抽出・集計し、岡山支店で岡山県の企業 2 万 4049 社について分析した。前年調査の対象企業は 2 万 3665 社。本調査は 16 回目で、調査対象は全業種・全法人(個人事業主を含む)。なお、シェアは小数点第 3 位を四捨五入、シェア増減はその差。

※本調査は帝国データバンクが独自に調査・保有する企業概要データベース「COSMOS2」に収録された企業データであるため、各金融機関がメインとして取引する実数とは異なる場合がある。一企業に複数のメインがあるケースでは、各企業が最上位として認識している金融機関のみを集計した。

1. 「中国銀行」が45.58%でトップ、1位～5位に変動なし

岡山県内の企業がメインバンクとして認識している金融機関のシェア上位は、表1の通り。

1位は「中国銀行」(本店・岡山市)で、シェア45.58%(企業数1万961社)を占めた。2位は「トマト銀行」(本店・岡山市)の11.34%(2727社)、3位は「おかやま信用金庫」(本店・岡山市)の10.14%(2439社)だった。この上位3つの金融機関のシェア合計は67.06%となり、地元岡山県に圧倒的な店舗網と取引先数を持つトップ3の金融機関をメインバンクとする企業が3分の2以上を占めた。

県内に本店を置くその他の金融機関では、「玉島信用金庫」(4位)、「水島信用金庫」(5位)、「笠岡信用組合」(8位)、「備前日生信用金庫」(9位)がトップ10に入った。

県外に本店を置く金融機関では、「広島銀行」(広島市)が6位、「百十四銀行」(高松市)が7位、「香川銀行」(高松市)が10位となり、隣接県の地銀が上位に入った。

メガバンクでは、「三井住友銀行」(東京都・17位)が最上位となったが、シェアは1%未満にとどまった。

前年調査と比較すると、1位～5位までの順位に変動はなかった。

トップ20のシェア増減をみると、シェアを伸ばしたのは2つの金融機関で、8位の「笠岡信用組合」が前年比0.07pt増、16位の「晴れの国岡山農業協同組合」が0.02pt増だった。

表1 シェア上位20の金融機関

2025年 順位	2024年 順位	金融機関名	本店所在地	2025年		シェア 増減(%)	2024年	
				社数	シェア		社数	シェア
1	(1)	中国	岡山市	10,961	45.58%	▲ 0.62	10,934	46.20%
2	(2)	トマト	岡山市	2,727	11.34%	▲ 0.04	2,693	11.38%
3	(3)	おかやま信金	岡山市	2,439	10.14%	▲ 0.16	2,438	10.30%
4	(4)	玉島信金	倉敷市	834	3.47%	▲ 0.05	834	3.52%
5	(5)	水島信金	倉敷市	644	2.68%	▲ 0.01	637	2.69%
6	(7)	広島	広島市	592	2.46%	▲ 0.04	592	2.50%
7	(6)	百十四	高松市	587	2.44%	▲ 0.08	596	2.52%
8	(9)	笠岡信組	笠岡市	517	2.15%	+0.07	493	2.08%
9	(8)	備前日生信金	備前市	499	2.07%	▲ 0.09	512	2.16%
10	(10)	香川	高松市	478	1.99%	▲ 0.04	481	2.03%
11	(11)	津山信金	津山市	378	1.57%	▲ 0.02	377	1.59%
12	(12)	吉備信金	総社市	322	1.34%	0.00	317	1.34%
13	(13)	山陰合同	松江市	284	1.18%	▲ 0.04	288	1.22%
14	(14)	備北信金	高梁市	259	1.08%	▲ 0.05	268	1.13%
15	(15)	伊予	松山市	241	1.00%	▲ 0.01	239	1.01%
16	(16)	晴れの国岡山農協	倉敷市	219	0.91%	+0.02	211	0.89%
17	(17)	三井住友	東京都	161	0.67%	▲ 0.02	164	0.69%
18	(18)	三菱UFJ	東京都	157	0.65%	▲ 0.03	160	0.68%
19	(19)	鳥取	鳥取市	140	0.58%	▲ 0.03	145	0.61%
20	(20)	みずほ	東京都	126	0.52%	▲ 0.03	129	0.55%

※シェアは少数点以下第3位を四捨五入、シェア増減はその差

2. 業種別：トップの「中国銀行」、主要 7 業種でシェア 35%超

主要 7 業種(『建設』『製造』『卸売』『小売』『運輸・通信』『サービス』『不動産』)別のシェア上位金融機関は、表 2 の通り。

トップの「中国銀行」は、全 7 業種で 35%以上のシェアを占めた。なかでも、『サービス』のシェアは 48.61%(3030 社)となり、半数近くを占めた。また、『建設』『製造』『卸売』『運輸・通信』も 45%を超える高い水準となった。

「トマト銀行」は 5 業種で 2 位、2 業種で 3 位となり、全 7 業種でシェアが 10%を超えた。「おかやま信用金庫」は 2 業種で 2 位、5 業種で 3 位となった。

県外の金融機関では、「広島銀行」「百十四銀行」が全 7 業種でランクインした。また、「香川銀行」が『建設』『製造』『卸売』『サービス』『不動産』の 5 業種でランクインした。

表 2 主要 7 業種別 シェア上位

建設

順位	金融機関名	社数	シェア
1	中国	3,103	46.00%
2	おかやま信金	861	12.76%
3	トマト	832	12.33%
4	水島信金	298	4.42%
5	玉島信金	245	3.63%
6	備前日生信金	156	2.31%
	香川	156	2.31%
8	笠岡信組	139	2.06%
	百十四	139	2.06%
10	広島	136	2.02%
	合 計	6,746	100.00%

製造

順位	金融機関名	社数	シェア
1	中国	1,260	47.09%
2	トマト	309	11.55%
3	おかやま信金	242	9.04%
4	広島	124	4.63%
5	百十四	91	3.40%
6	玉島信金	89	3.33%
7	水島信金	78	2.91%
8	備前日生信金	59	2.20%
9	香川	48	1.79%
10	笠岡信組	47	1.76%
	合 計	2,676	100.00%

卸売

順位	金融機関名	社数	シェア
1	中国	1,013	46.55%
2	トマト	245	11.26%
3	おかやま信金	217	9.97%
4	広島	84	3.86%
5	百十四	68	3.13%
6	玉島信金	64	2.94%
7	香川	59	2.71%
8	笠岡信組	51	2.34%
9	山陰合同	37	1.70%
10	水島信金	35	1.61%
	合 計	2,176	100.00%

小売

順位	金融機関名	社数	シェア
1	中国	1,309	41.86%
2	トマト	386	12.34%
3	おかやま信金	344	11.00%
4	玉島信金	155	4.96%
5	備前日生信金	85	2.72%
6	百十四	82	2.62%
7	笠岡信組	81	2.59%
8	津山信金	77	2.46%
9	備北信金	74	2.37%
10	広島	73	2.33%
	合 計	3,127	100.00%

運輸・通信

順位	金融機関名	社数	シェア
1	中国	422	46.68%
2	トマト	112	12.39%
3	おかやま信金	79	8.74%
4	備前日生信金	65	7.19%
5	笠岡信組	39	4.31%
6	百十四	27	2.99%
7	水島信金	20	2.21%
8	広島	20	2.21%
9	商工中金	18	1.99%
10	玉島信金	16	1.77%
	合 計	904	100.00%

サービス

順位	金融機関名	社数	シェア
1	中国	3,030	48.61%
2	トマト	634	10.17%
3	おかやま信金	455	7.30%
4	玉島信金	156	2.50%
5	百十四	123	1.97%
6	津山信金	103	1.65%
7	水島信金	93	1.49%
8	広島	92	1.48%
9	笠岡信組	90	1.44%
10	香川	88	1.41%
	合 計	6,233	100.00%

不動産

順位	金融機関名	社数	シェア
1	中国	531	36.02%
2	おかやま信金	189	12.82%
3	トマト	157	10.65%
4	玉島信金	93	6.31%
5	香川	58	3.93%
6	笠岡信組	54	3.66%
7	百十四	51	3.46%
	広島	51	3.46%
9	水島信金	44	2.99%
10	吉備信金	26	1.76%
	合 計	1,474	100.00%

※ 主要7業種以外に「その他」の業種で713社あり

3. 取引先の売上規模別:『10 億円以上』で県外地銀、メガが上位

取引先の売上規模別のシェア上位金融機関は、表 3 の通り。

「中国銀行」は 6 分類すべてで、4 割を超えるシェアを占めてトップとなった。とりわけ、『50 億円以上』でシェア 53.73% (209 社)、『10 億円～50 億円未満』で 46.77% (594 社)、『5000 万円～1 億円未満』で 46.60% (2013 社) と高かった。

『5000 万円未満』『5000 万円～1 億円未満』では、「おかやま信用金庫」が 2 位にランクインした。また、『1 億円～5 億円未満』『5 億円～10 億円未満』『10 億円～50 億円未満』では、「トマト銀行」が 2 位となつた。

『10 億円～50 億円未満』では、「広島銀行」が 3 位、「百十四銀行」が 5 位となった。また、『50 億円以上』では、「三菱UFJ銀行」が 2 位、「広島銀行」が 4 位、「三井住友銀行」が 5 位、「百十四銀行」が 6 位となるなど、県外の地方銀行やメガバンクが多数ランクインした。

表 3 取引先の売上規模別 シェア上位

5000万円未満

順位	金融機関名	社数	シェア
1	中国	4,282	45.34%
2	おかやま信金	1,070	11.33%
3	トマト	1,042	11.03%
4	玉島信金	335	3.55%
5	水島信金	242	2.56%
6	備前日生信金	220	2.33%
7	笠岡信組	193	2.04%
8	津山信金	192	2.03%
9	広島	169	1.79%
10	百十四	157	1.66%
	合 計	9,444	100.00%

5000万円～1億円未満

順位	金融機関名	社数	シェア
1	中国	2,013	46.60%
2	おかやま信金	492	11.39%
3	トマト	487	11.27%
4	玉島信金	155	3.59%
5	水島信金	140	3.24%
6	笠岡信組	110	2.55%
7	百十四	99	2.29%
	広島	99	2.29%
9	備前日生信金	98	2.27%
10	津山信金	74	1.71%
	香川	74	1.71%
	合 計	4,320	100.00%

1億円～5億円未満

順位	金融機関名	社数	シェア
1	中国	3,170	44.73%
2	トマト	910	12.84%
3	おかやま信金	698	9.85%
4	玉島信金	270	3.81%
5	水島信金	217	3.06%
6	百十四	194	2.74%
7	香川	178	2.51%
8	広島	170	2.40%
9	笠岡信組	169	2.38%
10	備前日生信金	148	2.09%
	合 計	7,087	100.00%

5億円～10億円未満

順位	金融機関名	社数	シェア
1	中国	617	45.43%
2	トマト	142	10.46%
3	おかやま信金	109	8.03%
4	百十四	63	4.64%
5	広島	60	4.42%
6	香川	42	3.09%
7	玉島信金	40	2.95%
8	笠岡信組	31	2.28%
9	水島信金	28	2.06%
10	伊予	25	1.84%
	合 計	1,358	100.00%

10億円～50億円未満

順位	金融機関名	社数	シェア
1	中国	594	46.77%
2	トマト	120	9.45%
3	広島	74	5.83%
4	おかやま信金	63	4.96%
5	百十四	60	4.72%
6	伊予	38	2.99%
7	香川	36	2.83%
8	山陰合同	33	2.60%
9	三菱UFJ	31	2.44%
10	玉島信金	28	2.20%
	みずほ	28	2.20%
	合 計	1,270	100.00%

50億円以上

順位	金融機関名	社数	シェア
1	中国	209	53.73%
2	三菱UFJ	21	5.40%
3	トマト	19	4.88%
4	広島	17	4.37%
5	三井住友	15	3.86%
6	百十四	14	3.60%
7	みずほ	11	2.83%
8	商工中金	7	1.80%
9	伊予	6	1.54%
10	香川	5	1.29%
	鳥取	5	1.29%
	合 計	389	100.00%

※売上高の登録のない企業を除く